

平成 29 年度第 5 回北広島市市民参加推進会議 会議録

日 時	平成 30 年 2 月 6 日 (火) 午後 6 時 30 分から午後 8 時	
場 所	市役所 3 階 3D 会議室	
出席者	委員 (10 名)	山野委員、中野委員、北川委員、佐藤委員、竹内委員、 穂刈委員、小池委員、深村委員、高橋委員、川村委員
	事務局	橋本課長、柴主査、佐々木主任
	傍聴者	0 名
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項 (1)「北広島市における市民参加」に関する報告書(案)について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>	
配布資料	<p>・資料①「北広島市における市民参加」に関する報告書(案)</p>	

## ■会議シナリオ

### 1. 開 会

事務局：それでは、定刻となりましたので、平成 29 年度第 5 回北広島市市民参加推進会議を開会いたします。

本会議につきましては、出席委員が過半数を超えておりますので、北広島市市民参加条例施行規則第 8 条第 6 項の規定により、会議が成立しますことを事務局より報告いたします。

それでは、施行規則第 8 条第 5 項の規定により、議長につきましては山野会長にお願いいたします。山野会長よろしくお願ひいたします。

議 長：(簡単なあいさつ)

それでは、はじめに議事録署名委員の指名ですが、穂刈委員にお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

### 2. 協議事項

議 長：協議事項、北広島市における市民参加に関する報告書案について議論していきたいと思ひます。本日は報告書案の中で修正したほうが良い部分があれば伺ってきたいと思ひます。まず、「はじめに」で、今までの経緯を書いています。あわせて今後どのような形で市民参加を生かしていけるのか、そして最後に来年は市民参加条例を制定し 10 年となりますので、何かの形で事業をもっと評価していただきたいということをつけ加えております。

続いて 2 ページになります。「市民参加の現状と課題等について」ということで、①市民参加に関する周知について、②市民参加の方法について、③市民参加の対象と手続きの選択方法について、という 3 つ大きなテーマを設け、検討してきたことを書いてます。3 ページ、「市民参加の現状と評価」ということで、市民参加の現状認識を書いてあります。「市民参加の具体的な取組と評価」では、手法別に①ワークショップ、②パブリックコメント、③審議会、④市民説明会について、今期の任期の中で行われた具体的なことと、それに対する評価をまとめております。

4 ページ、「めざす方向性」ということで、市民の意向を十分に反映した市政運営を行うことが大切であり、市政に関する情報を市民と市が共有し、計画立案、実施、評価など、さまざまな機会をとらえ、市民がまちづくりに参加することが求められていることから、市民参加への意識の高揚を図り、効果的な情報発信や実効性のある市民参加手続きの実現を目指すことが大切であると記しています。そして、「今後に向けて」ということですが、4 項目で記載しております。具体的には、市民参加の周知に関すること、方法に関すること、市民参加の対象と選択方法の手段に関すること、市民参加推進会議に関することについて記載してあり、5 ページ以降では、これまでの会議の中で出された意見等を抽出しております。ある程度ピックアップして掲載しているので、自分の発

言が掲載されていないこともあるかもしれません。また、会議での意見から抽出しておりますので、どういう場面でその意見が出されたかどうかはわからない状態となっています。そのため注釈において、議事録を参考にさせていただきたいという旨を加えたいと思います。

最後、13 ページとなりますが、推進会議の開催状況を掲載しております。

全体を通してその他ご質問等はございますか。

B 委員：13 ページの市民参加フェスティバルの表記の下に「市民参加フェスティバルについて」となっているのですが、これは推進会議を開いたということでしょうか。

議長：短時間ではありましたが、フェスティバル後に会議を開いています。表記として市民参加フェスティバルという部分に「開催」と書いたほうがいいかもしれません。他にご意見ご質問等ございませんか。

委員：（なし）

議長：それでは変更点として、13 ページの市民参加フェスティバルのところでは、「市民参加フェスティバルの開催」と記載する。この内容でよろしいでしょうか。

委員：（了承）

議長：それでは変更点を反映させたものを市長へ提出させていただきます。他に委員の皆さまから何かございますか。

F 委員：自治連合会の副会長をやっている関係で、4 つの審議会に参加しています。今回の推進会議で、ある程度経験をされた方が他の審議会にも参加されるなどの配慮をしていただけると良いのかなと思いました。

議長：苫小牧市では人材バンクということで、委員を経験したことがある方をお願いするような形をとっていたり、市政に関心のある方に登録をしていただいたり、その方々をお願いするような形を取っているようなところもあります。確かに色々な人に関心をもってもらえば良いのですが、市政に対して関心の高い人と低い人がどうしても出てきてしまいますので、そういう面では関心の高い人からお手伝いをいただくシステムができれば良いと思います。報告書にも記載してありますが、他の市でもやってることを参考にしていただけたらと思います。

それでは任期の最後ということで、各委員から一言ずつ、今までの感想などをお話しただけたらと思います。D 委員からよろしく願いいたします。

D 委員：報告書を見ていくとフェイスブックにも北広島市のページがあり、ホームページももちろんですけども今の時代はツイッターなどもあります。このような SNS を通じて市を発信していく、市民の声を拾っていくというような、今の時代にあった市民参加の手法ということ、今後の課題として考えていかなければならないと思います。

F 委員：先ほどお話しさせていただいたとおりです。

G 委員：市民参加というものは、正解がないというか、予算も限られている、資源も限られているという中で、数字で結果が出るようなものではないので難しいなと感じました。市民参加フェスティバルがあると映えるし、そのような活動を地道にやっていくしかないのかなと感じました。

B 委員：自分が市民参加というものをあまり知っていなかったという状況で、この会議に参加させていただきましたが、参加させていただくようになってから市からアンケートが来るといったようなこともありました。私は、どちらかという活動の場が図書館ということで子どもたちが身近なところにおいて、息子にも先日アンケートが届いて、アンケートは市民参加だから回答したほうが良いよと言ったら、何それ、と言われました。やはり知らないんだということで、身近なところでも子どもたちがやっぱり知らないですね。先ほどの G 委員の話もそうですけれども、もう少し根付くように地道に進めていくのが良いですけれども、もちろんフェスティバルもいいですが、若いうちから市民参加というものを周知できるような方法をずっと考えています。もちろん皆さんとお話しさせていただいていますけれども、もっと良い方法はないかと、来期も委員を続けることとなりましたので、今後もみなさんと相談して行ければと思っています。

C 委員：私は 2 期 4 年間お世話になりました。皆様のおかげです。ありがとうございました。この会議に参加してからずっと思っているのですけれども、どのような形で行政に携わっている方は本当に大変だなと思います。私もこういう形で携わらせていただいて、これはもう職業だなと本当に思います。これが本当に素直な感想です。今回、このような報告書を作成していただいてと思いますが、また来期委員を続けられる方には報告書を参考に一步一步で良いですから、新しい推進会議を進めていただければと思います。ありがとうございました。

E 委員：知識不足のまま参加してしまったので、出席するたびに全然意見も言えず、お役に立てなかったのではないかという感じではありましたけれど、とても自分の中では意識が変わりました。

H 委員：みなさんからの色々なご意見を、次の推進委員にも利用していただけたら良いと思っています。この後、事務局の方からも説明があると思いますが、市の組織体制も若干変わりますので、今後もよろしく願いいたします。

I 委員：まず事務局として、会長、委員の皆さま、ありがとうございました。

個人的には市民参加のあり方を少し広く捉えていて、政策的に実現できる市民参加と、色々なイベントに参加することも私は市民参加だと思っています。実は市民参加をしていることに気付いていないだけで、会議になるとパブコメの件数などに捉われてしまうところもあると思います。例えば、先日開催したボールパーク構想のシンポジウムでも興味がある方は 600 人すぐに集まります。色々興味のあるところで参加することが市民参加ではないかなと思っています。行政側も数が少ないから市民参加の意識が低いまちだということではなくて、市の活動も含めて意識の高いまちだと私は思っています。次期の会議ではそのような切り口から議論を進めても面白いのではないかと考えています。委員の皆様、本当にありがとうございました。

議長：それでは私からもお話ししたいと思います。約 10 年前、市民参加条例で市民委員というものがあり、そこで 20 人の市民が 2 年をかけ、この市民参加条例を作りました。もちろん完成した条例は、条例というスタイルなので文言は大分修正しながら進めました。かなり細かいところまで、これはこの文言のほうが良いとか、そうではなくてこうではないのかという、かなりの議論を重ねてこの条例が完成し、上野市長が最初に立候補さ

れた時の公約ということで、この市民参加条例、私もそれまで市民参加条例というものがあるということを知りませんでした。その時に関わってみて、これはかなり地味だけれどもとても大事なことなのではないかと感じ、条例で定められた推進会議の委員もやってみようと思いました。推進会議の委員をもう一回やってみたいなということで参加させてもらいました。前回の委員の時も、どうやって評価してもらったら良いのかというのから始まり、委員のみなさんで表を書いて、この表は見づらいから使いづらいうるか、こちらの表のほうが良いとか、それぞれの人が自分の書いた表を持ち寄って、自分はこっちのほうが良いとか、そのような喧々諤々の議論をしながら、どういう形で評価していけば良いのかななどをしばらく話し合っていました。議会のインターネット中継を見ていると、市民参加に関することの質問が出ることもあります。議事録とかを見てみますと、推進会議の回数は意外に少なく感じました。事前評価と事後評価しか開催していない年もあり、少し残念にも思いましたので、条例ができてしばらく経つので、それでは少し関わってみたいなと思いました。今回は議長をやらせていただきましたが、素人なのでどういうことができるのかわからないけれども、ある程度市民参加のことは過去に経験があるので、試行錯誤しながらも、なかなかうまく進行ができなかったかなと思います。そういう部分では非常に反省点もありますし、先ほど話したとおり2年で何らかの形にしなければいけないということもあって、少し焦っていた部分もありました。1年目は何を話し合っているのかということですが、なんとか皆さんに市民参加とはこういうものだということを知っていただくために、1年間は充電しようかなということもあって、とりとめのない会議になってしまった部分もありました。年間5回の会議回数ということで、習い事も年間5回じゃ上手くならないと思います。習い事とは違いますが、会議の回数が少ないのは残念だったかなという気はしています。それと一つ嬉しかったのは、このような議長の元で市民参加推進会議に参加していただいて、それでも来期も委員を続けていただけるというのを聞いて、非常にうれしく思いました。C委員と私は今期で終了ですが、市民参加のプロだということで来期も頑張っていたきたいと思います。市民参加条例の制定から間もなくして10年を迎えますから、先ほどI委員からお話しがありましたけれども、色々な形での市民参加ということも考えて行けるのではないかと思います。初めはパブリックコメントの件数に非常にこだわっていたのですが、だいぶわかってきました。ただし、パブリックコメントの数は少なくても良いというのは違う気もしますので、是非その点についてもパブリックコメントの数をいかに上げていくかということも同時に考えていただきたいと思います。本当に委員の皆さんには感謝を申し上げます。もう一つ事務局には大変お世話になりました。特に初めて開催した市民参加フェスティバルでは頑張っていたいただきまして感謝したいと思います。こういう会議や審議会でこのような話ができることも、市民参加推進会議ではないのかなと思っておりまますので、市民にこれからも参加の機会がもっともっと増えるように来期の委員の皆さんには頑張ってもらいたいと思います。

### 3. その他

議 長：本日の議案は以上となります。最後に「その他」として事務局から次回会議開催時期などに関して、委員の皆さまにお伝えすることはありますか。

事務局：＜来年度の組織、次回の会議等について事務局から説明を行った。＞

議 長：ただいまの事務局の説明について、何か質問はございませんか。

委 員：＜質問なし＞

### 4. 閉 会

議 長：それでは、本日の会議はこれで終了といたします。お疲れ様でした。

議事録署名委員

---